



2019-2020 年度

国際ロータリー会長 / マーク・ダニエル・マローニー 会長 / 持田 稔樹 副会長 / 釜屋 治男  
2690地区ガバナー / 古瀬 俱之 幹事 / 杉原 朋之 会計 / 板垣 文江

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365  
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)  
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
12月5日	(有)玉木製麺代表取締役 玉木 暢 様	旧石橋酒造の利活用について
12月12日	ホテル ほり江 18:30~	忘年例会
12月19日	出雲税務署長	

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
42	27	15 (7)	77.14%

■欠席者

石原俊 / 松浦 / 小汀 / 大島淳 / 大谷良 / 飯塚俊 / 原伸 / 園山 (山根 / 牧野 / 遠藤 / 河原 / 高砂 / 黒田 / 伊藤)

■来訪者

なし

■メイクアップ

11/27 加藤(出雲南)

■次回例会受付当番

(12月12日) 久家正義 / 来間 久 / 榎野良文  
(12月19日) 土江光二 / 松浦剛司 / 三好洋平

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	松江
12/23	12/23	12/23 12/30(-) 1/6 1/27 2/10
火	12/10 12/24(-) 12/31(-)	松江しんじ湖 12/10 1/7 1/28 2/25 12/24・31(-)
水	大社 1/8 1/1・29(-)	松江 12/18 12/25 1/29
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東 12/19 1/30 12/26(-) 1/2・23(-) 2/27(-)
金	出雲南 12/20 12/27(-)	

■会長挨拶

「棟梁の大きな仕事は'人'に仕事をしてもらう事にあります。どんなに腕が良くても、木の癖を見抜くことが出来ても、自分一人では建物は建たんです。一人では柱一本持つこともできません。少なくとも二人の力が要ります。木を削ったり、切ったり、もう一人の職人が必ず要ります。塔建立には大勢の職人を使わなくてはなりません。各地から人が集まって来ますが、私の弟子ではないんです。みんな腕のある職人ばかりです。職人というのは頑固です。中には性根の曲がった者もいます。しかしそれなりに使わなければなりません。甘やかさず、厳しとこは厳しくせななりません。そして職人は大工だけでなく、左官、石屋、瓦屋、漆屋、様々な職人を纏まとめて行くのが一番大変でせ」と、言っているのは、薬師寺の西塔建立の棟梁「西岡常一」さんです。(当時 68 歳)私は 42 年前、西塔建立の工事現場を見学に行き、一度だけお目に掛ったことがあります。作業場は大きな体育館のような広さで、大きな機械がありそれで加工し、不思議なことに最後は、人の手で仕上げをしていました。

その道具は、見たことのない「槍鉋」と言う物でした。槍の刃先がスキーの板のように少し反っていて、それを押し当てて手前に引くことで、削るというかそぎ取る感じでした。「誰か試してみませんか」と言われましたが、リンゴの皮のような長い鉋屑が誰も出ませんでした。千年持たせる為に、斜めにそぎ取り表面を極めて平滑にし、カビ等を生えなくするそうです。また、屋根を見ると、隣の東塔より勾配が少し緩く作られています。それは、年月が経つと木が縮み同じ勾配になるそうです。1000 年先の本当の姿を見れないのが残念です。

法隆寺の大工の口伝に「神仏をあがめずして社頭伽藍を口にすべからず」とあります。神仏に手を合わせた事の無いものが工事などするな！と言う事ではないかと思います。

「堂塔建立の用材は木を買わずに山を買え」、「木は生育の方位のままに使え」などなど、他にも色々口伝が残されています。

棟梁が弟子を育てるときは、一緒に飯を食って一緒に生活し、見本を見せるだけです。

「こんなふうには削れるように研いでみなさい」と、やって見せるだけですな。

この本を読むたびに一番難しいのは、木の癖組より「人の癖組」ではないかと痛感しています



■幹事報告

1. 例会変更

- 大社 RC 2020/1/8(水) 18:30~ 新年会 会場:ますや旅館  
ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局
- 松江 RC 2020/1/29(水) 松江 4RC 合同夜間例会  
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 ホテル一畑
- 松江南 RC 2020/1/27(月) 松江 4RC 合同夜間例会  
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 松江エクセルホテル東急 1F
- 松江しんじ湖 RC 2020/1/28(火) 松江 4RC 合同夜間例会  
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 すいてんかく
- 松江東 RC 2020/1/30(木) 松江 4RC 合同夜間例会  
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 ホテル一畑

2. 休 会

- 大社 RC 2020/1/1・29(水) 定款による  
ビジター受付 なし
- 松江南 RC 2020/1/6・2/10(月) 定款による  
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 松江エクセルホテル東急 1F

○松江しんじ湖 RC 2020/1/7・2/25(火) 定款による  
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 すいてんかく  
○松江東 RC 2020/1/2・23・2/27(木) 定款による  
ビジター受付 な し

### 3. IM ( 3/21 土曜日 開催 ) 出欠表の回覧

入会5年未満の方、是非ご参加下さい。

### 4. 鳥取中央 RC より創立30周年記念誌を頂きました。

### 委員会報告

出席・親睦委員会 : 12月の会員誕生・伴侶誕生・結婚記念祝い



### スマイル

**持田稔** (先週は5クラブ合同例会無事終了できました。佐々木哲也補佐、清原正幸グループ幹事、杉原幹事他準備に携われ方々にお礼申し上げます。)

本日は玉木製麺代表取締役社長、玉木暢様スピーチ宜しくお願いします。)

**杉原** (玉木暢様、本日のスピーチ宜しくお願いします。)

**佐々木** (玉木様、本日のスピーチよろしくお祈りします。)

先週は5クラブ合同例会を無事に終える事ができ、大変ありがとうございました。)

来年3月21日のIMへの登録・出席もよろしくお祈りします。)

**大谷厚** (玉木社長様、ようこそおいで頂きました。今後のご活躍を期待しております。)

**内田** (玉木製麺社長様、本日は講演ありがとうございます。)

**釜屋** (5クラブ合同例会ご苦労さまでした。早退致します。)

**來間** (本日は玉木さん、平田 RC へ よこそ。旧石橋酒造の再開は大変お世話になっております。12/17には母屋部分(前面)のNIPPONIA出雲・平田木綿街道という宿泊施設がOPENします。後ろの蔵部分も来年1月OPEN 予定です。本日はスピーチ楽しみにしております。)

**持田祐** (玉木様、本日はようこそ。スピーチよろしくお祈り致します。)

**神田** (玉木社長、本日はようこそお出で下さいました。貴重なお話、楽しみにしています。)

## 2164回 例会分

全 員 (平田クラブにおいての5クラブ合同例会開催を喜んで。)

### スピーチ・例会行事

(有)玉木製麺代表取締役 玉木 暢 様

### 「旧石橋酒造の利活用について」



20年前に文吉うどんを製品化しました。斐川のケチャップで出雲ナポリタンを開発しました。

石橋の蔵を活用して、文吉うどんを全国で展開したい。かつて原文吉製麺として平田で製品化されていた。2017年から振興会と宿泊と観光事業と地元の産品と販売を企画した。酒石橋でお店として展開したいと考えていたところ、酒石橋が立ち入りできない状態だったが、建物は素晴らしく歴史と文化を感じる場所だった。古民家の利活用は全国で課題となっている。木綿街道の中では、商店が長い歴史の中で商売されている。文吉うどんをはじめとして文化の集積地として表現したかった。歴史ある商店と文吉うどんと宿泊が結び付けば輝かしい街になるのではないかと思う。かつて平田の街は大きな商業の街で、松江と出雲の中間で空港も近い。本物を知る方に長期の滞在と足を運んでもらえる街にしたい。

今回は催事とパフェなどの小さな展開から大きな展開を進めている。

文吉うどんはうどんにもパスタにも利用できる面白いうどん。地域・世界を旅する創作和麺。1月29日オープン予定。本物を追求する幅広い世代に商品を提供したい。ロゴは水引と平麺をイメージしている。

今後の発展は、県内外の方に平田に面白いものが出来たのを、宣伝して足を運んでいただきたい。出雲や斐川から県外に出た人に地元に戻ってきてもらいたくなるような魅力を伝える事業展開をしたい。

「神様のひとさら」出雲・平田・雲南の食材を用いて、一つ星のシェフにお願いして石橋の中庭でフェスを開催したい。雲南・安来でも開催したい。全国から注目される街にしたい。

なぜ平田かは本家が平田で、浜田は母方の実家があるので店を作りたい気持ちがある。料理の楽しさ美味しさを知って、県外から帰ってきてもらいたい。これからは事業を続けたい。縁を大事にしたい。

